

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成29年度)

2. 分野等別状況 (1) 国際戦略総合特区(2/7)

| | 総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算) | I | II | III | 総合評価に係る専門家所見(主なもの) |
|---|--------------------------------|--|--|-----------------------|--|
| | | 目標に向けた取組の進捗 | 支援措置の活用と地域独自の取組の状況 | 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決 | |
| アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区 (愛知県、岐阜県、三重県、長野県、静岡県 等) | 4.6 | 4.4 進捗度 ・中部地域における航空機・部品の生産高 113% ・中部地域における航空宇宙関連輸出額 76% ・中部地域における航空宇宙関連の工場等の新增設件数 175% 等 | 4.3 規制の特例等 ・工場等新增設促進事業 等 財政支援等 ・ボーイング787等量産事業 等 地域独自の取組 ・21世紀高度先端産業立地補助金 等 | 4.8 | <ul style="list-style-type: none"> ・きわめて順調であり、航空産業の発展に向けて十分な実績が上がっている。 ・規制の特例措置の活用も評価できる。 ・評価指標(3)、(4)の進捗度低下の原因を解明し、その分析結果への対応を早急にとられることを期待する。 ・金融支援や税制支援の活用も進められていることが成果につながっていると推測されるが、地域独自の取り組み等について具体的な説明を期待したい。 |